

クイックナビ™ - COVID19 Ag を薬局で購入された方へ

※本製品は「体外診断用医薬品」です。
 ※無症状者への検査は推奨されていません。
 ※唾液は検体として使用しないでください。

内容物の確認

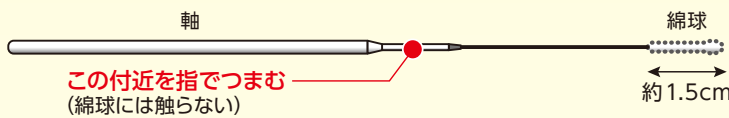
検査実施前に内容物をご確認ください。



- ① テストデバイス
- ② 検体浮遊液
- ③ 鼻腔用滅菌綿棒
- ④ 試料ろ過フィルター

検体採取方法

1 鼻腔用滅菌綿棒の綿球から約5~6cm付近を指でつまむと、より採取しやすくなります。



2 検体採取(鼻腔ぬぐい液の自己採取)

- ① 鼻孔(鼻の孔の入り口)から2cm程度綿棒を挿入する。
- ② 鼻腔内の粘膜を軽くこするようにして、そのままゆっくり綿棒を5回転させます。
- ③ 5秒待ち綿球を十分に湿らせた後、他の部位に触れないよう取り出します。



検体採取における注意点

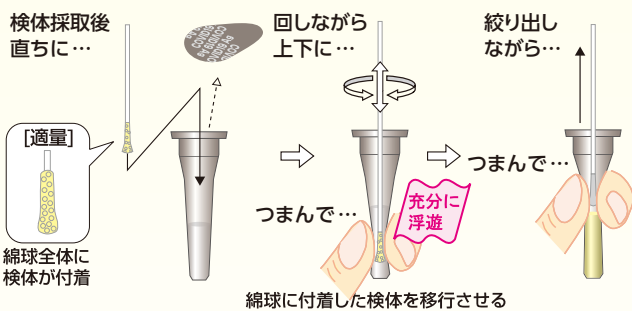
- あらかじめ検査に関する注意点、使い方等を勉強してから検査を実施します。
- 同居人等がいる場合は、被検者は、他者と向き合わない方向を向くか、他者とガラス等により隔てられた位置に移動して実施します。
- 他者による検体採取は感染等のリスクを伴う可能性があり、また、鼻咽頭(鼻の奥)ぬぐい液の自己採取は危険かつ困難であるため、鼻腔ぬぐい液の自己採取によって行います。



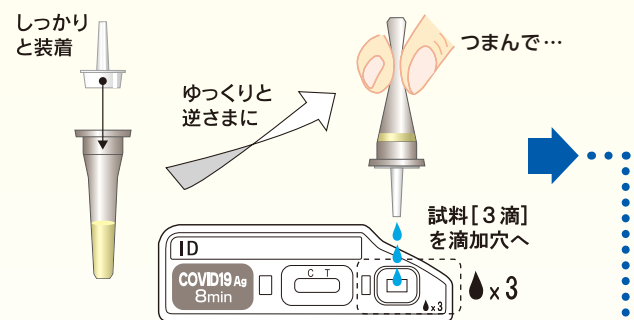
操作方法

ご使用の際は、添付文書をよくお読みください。

試料の調製

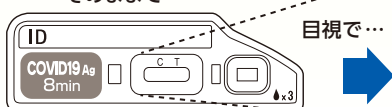


試料ろ過フィルター装着/試料の滴加



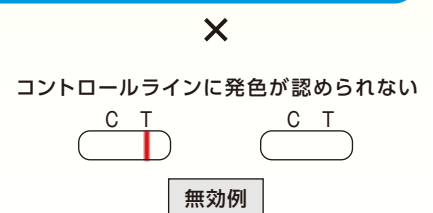
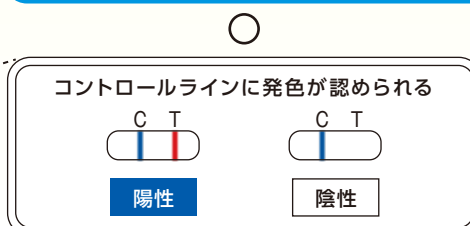
反応時間: ~8分間

15~30℃
で静置
そのまま...



目視で...

検査結果の判定: 判定例



上記は判定例を模式的に表したものであり、実際の見え方とは異なります。

判定は、ラベル表記の時間(8分)経過後、速やかに行います。

判定図例

判定部写真				
判定	陽性	陰性	判定保留	
備考	C(コントロールライン):青色 T(テストライン):赤色	C(コントロールライン):青色 T(テストライン):ラインなし	C(コントロールライン):ラインなし T(テストライン):赤色	C(コントロールライン):青色 T(テストライン):灰色

判定に関する注意点

- 判定は、ラベル表記の時間(8分)経過後、速やかに行います。指定された時間を過ぎた場合、キット上に表示される結果が変わることがありますので、製品の添付文書を確認し、特に陰性と判定する場合には、必ず指定された時間で判定してください。(陽性の判定については、指定された時間の前でも可能です。)
- キット上に表示される結果が明瞭でなく、判定が困難な場合には、陽性であった場合と同様に取り扱ってください。
- 抗原定性検査の結果を踏まえて被験者が感染しているか否かについての判断が必要な場合は医師に相談してください。

留意点

1 検査後の対応

判定結果	対応
陽性	●速やかに医療機関を受診してください。
陰性	●偽陰性(過って陰性と判定されること)の可能性も考慮し、症状がある場合には医療機関を受診してください。症状がない場合であっても、引き続き、外出時のマスク着用、手指消毒等の基本的な感染対策を続けてください。

2 受診方法の相談等

結果等を踏まえて受診する場合は、**まずはかかりつけ医等の地域で身近な医療機関に電話等でご相談ください。**
お近くの診療可能な医療機関や受診方法をご案内します。

※院内感染を防止するため、緊急の場合を除いて、連絡なく医療機関に直接受診することは控えてください。

かかりつけ医がないなど相談先に迷った場合は「**受診・相談センター**」(地域により名称が異なることがあります)にご相談ください。

下記URLにおいて、各都道府県が公表している、相談・医療に関する情報や受診・相談センターの連絡先をまとめています。
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19-kikokusyassessyokusya.html



3 抗原簡易キットの保管等

区分	取扱い方法
保管方法	常温(冷蔵保存の場合は、使用前に室温に戻してから使用)
廃棄方法	ご家庭等で使用したキット(綿棒、チューブ等を含む)を廃棄するときは、ごみ袋に入れて、しっかりしばって封をする、ごみが袋の外面に触れた場合や袋が破れている場合は二重にごみ袋に入れる等、散乱しないように気を付けてください。 参考:新型コロナウイルスなどの感染症対策としてのご家庭でのマスク等の捨て方(リーフレット) http://www.env.go.jp/recycle/waste/sp_contr/infection/leaflet-katei.pdf

保管及び取扱い上の注意

- 内容物がすべて揃っているか、また浮遊液が液漏れしていないかご確認ください。
- 本製品は高温多湿、直射日光を避け、室温2~30℃を超えない冷暗所に凍結させないように保管ください。
- テストデバイスは15~30℃に戻し、使用直前に開封してください。
- 本製品は自立して検体を自己採取できる方が対象となります。自己採取が困難な方はご購入をお控えください。
- 取扱説明書、パンフレット等であらかじめ検査に関する注意点、使い方等をご確認頂き正しい手順に従ってご使用ください。
- 濡れた手でテストデバイスの判定部や滴加部を触らないでください。
- 正しく検査を実施するためにテストデバイスは分解しないでください。

その他の注意事項

- 滅菌綿棒は開封口から開封します。その際綿棒には触れないでください。
- 自己採取の際、滅菌綿棒を鼻の奥へ入れ過ぎないようにご注意ください。また目や口、耳に入れないように、また飲み込まないようにご注意ください。
- 付属の滅菌綿棒以外は検査に使用できません。
- 検体浮遊液やフィルターを誤飲しないように子供の手の届かないところに保管してください。方が一検体浮遊液および試料が皮膚に付着したり、誤って目や口に入った場合には、水で十分に洗い流す等の応急措置を行ってください。必要があれば医師の手当を受けてください。また付属するフィルターは小さいので飲み込まないようにご注意ください。

厚生労働省 新型コロナウイルスに関するQ&A(一般の方向け)は
こちらの二次元バーコードを読み取りご覧ください。



【問い合わせ先】

デンカ株式会社

〒103-8338 東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号
フリーダイヤル 0120-206-072

受付時間 9:00~17:00(土日祝日・弊社休業日を除く)

発行日2022年6月

IVD-2021-110187-01



鼻腔ぬぐい液検体の採取および操作方法の動画は
こちらの二次元バーコードを読み取りご覧下さい。